

# 森林インストラクター東京会

Home

Forest Instructor Tokyo 頭文字をとって FIT(フィット)と呼ばれています

山笑(やまにこ)会主催、季節の花と景色を楽しむハイキング

## ミツバツツジに彩られた初夏の三ツ峠ハイキング

2019年5月30日(金) 晴れ

コース：富士急河口湖駅＝三ツ峠登山口バス停～三ツ峠～霜山～天上山～河口湖駅

実施予定日の28日は強風の予報の為に中止とし予備日の30日に実施しました。集合場所の富士急行河口湖駅は海外からのお客様がいっぱい。世界文化遺産に登録された富士山の人気は高い。

日に一本しか運行していないバスに乗り、三ツ峠登山口に到着。開会式でコース説明・安全注意・準備体操して出発。東京に比べて一月ほど季節が遅れていて、木々の新緑が目にも染みる登山道を歩く。森の奥からはオオルリやコルリに混じって、コマドリの囀りも聞こえてくる。道端には金色の花が咲いている。キジムシロ、ミツバツチグリ、ツルキンバイは花を見ただけでは識別が難しい。

落ちていた白い花弁はムシカリの装飾花、ややピンクの花弁はマメザクラ。クリンユキフデが咲き、ワチガイソウも白い花をつけている。マイヅルソウはまだ緑色の蕾。ピンク色のミツバツツジが満開。クサボケがオレンジ色の花をつけ、色々な花を楽しみながら登り、予定通りの時間に三ツ峠山荘に到着。



ミツバツツジ咲く三ツ峠 (開運山)

三ツ峠山荘前のテーブルで富士山を正面に見ながら昼食。ミツバツツジの向こうに裾野を大きく広げた富士山が見える筈だが、五合目から上は雲の中。左後方は目指す三ツ峠 (開運山)、山頂下は屏風岩の絶壁で、ロッククライミングをしているパーティが見える。絶壁の上に立つ人影も。

三ツ峠山頂直下は急な登りのザレ場であったが、道が整備されて歩きやすくなった。山頂では北側が木に遮られているが300度近い大パノラマを楽しむ。東は丹沢山塊、南は富士山、右に御坂山塊、雲間に南アルプスの塩見岳、北岳が、西側には遠く八ヶ岳から甲武信、雲取山まで。双眼鏡で見ると南アルプスと八ヶ岳の間に中央アルプスの山(駒ヶ岳?)がかすかに見えるとか。

下りは木無山までのお花畑の中を歩く。秋にはタムラソウやフジアザミが咲くお花畑は、5月は花が無く寂しい。母の白滝コースを右に分けて霜山を超えて天上山まで続く府戸尾根を延々と歩く。咲き残るスミレやイカリソウ、ヒトリシズカ、マルバウツギ、ツクバネウツギ、ガマズミ、ヤマツツジと次々に現れて目を楽しませてくれる。松林ではハルゼミの声が賑やかに聞こえる。

天上山に祀られた小御嶽神社にハイキングの安全を祈願。富士見台は海外から来た観光客で大混雑。雲間に頭が少し見える富士山を写真に収めてから、ロープウェイで河口湖畔まで下る。眼下には太陽光を受けて湖面がきらきらと輝く河口湖が広がる。無事に河口湖駅にゴール、参加者の感想と転倒や怪我が無かったことを確認して解散。

ゴールの河口湖駅からは雲がなくなった富士山が。ハイキングの最後に山頂まで全体の姿を現した霊峰富士に見送って頂き、お客様もスタッフも大満足でした。

参加者：12名

スタッフ：久保雅春、小野梨香(安全、サポート)、槇田幹夫(幹事、報告)







開会式：入念に準備体操



昼食：富士山を見ながら（三ツ峠山荘）



登頂記念：三ツ峠（1785m）



アンテナが立つ三ツ峠



雲間に頭が見える富士山（富士見台）



葉の鋸歯が深いツルキンバイ



装飾花が目立つムシカリ